

最終版

公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

令和元年度

全国教職員研修会開催要綱

未来社会を創る次世代教育

～実践力を高める介護福祉士養成～

令和元年度の全国教職員研修会は、介護福祉士養成教育について課題の多い現在を変革の機会ととらえ、「未来社会を創る次世代教育」を研修会テーマといたしました。

養成教育が始まって30年、多くの養成校卒業生が介護福祉の現場でそして地域で中核となって活躍しています。この養成教育の成果を力に変えて、未来社会を創る介護福祉士を養成して参りましょう。

みなさまの本研修会へのご参加を、実行委員一同心よりお待ちしております。

会 期 令和元年10月24日（木）～25日（金）

札幌ガーデンパレス

会 場 〒060-0001 札幌市中央区北1条西6丁目
TEL ; 011-261-5311

参加費 会員事前申込 ; 10,000円（当日11,000円）
非会員事前申込 ; 11,000円（当日11,000円）※資料代含む
情報交換会 ; 6,000円 ※事前申し込みのみ

主 催 公益社団法人 日本介護福祉士養成施設協会

主 管 公益社団法人 日本介護福祉士養成施設協会北海道ブロック会

後援（予定） 厚生労働省・北海道・札幌市・北海道社会福祉協議会
北海道介護福祉士会・北海道老人福祉施設協議会
北海道老人保健施設協議会・北海道身体障害者福祉協会

学校法人北翔大学 北翔大学

大会事務局 〒069-8511 江別市文京台23番地
E-mail: zenkokuken2019@hokusho-u.ac.jp

プログラム

<研修 1 日目> 10/24(木)

10 : 00～	受付開始
10 : 30～11 : 00	開会式
11 : 00～11 : 45	行政説明 ; 「介護福祉士養成教育をとりまく政策の現状と方向性 (仮)」 厚生労働省 社会・援護局福祉基盤課 福祉人材確保対策室 介護福祉専門官 伊藤 優子 氏
11 : 45～13 : 00	事業報告 ; 『教育方法の手引』 の活用について 荏原 順子 氏 (目白大学 教授) 本名 靖 氏 (本庄ひまわり福祉会 総合施設長) 川井 太加子 氏 (桃山学院大学 教授)
13 : 00～14 : 00	昼食
14 : 00～ ～17 : 00	基調講演 「未来社会 Society 5.0 時代に求められる能力と教育」 講師 ; 中川 哲 氏 (国立教育政策研究所 フェロー) ワークショップ 「未来社会で問われる介護福祉士養成教育」
18 : 00～20 : 00	情報交換会 (会場 : 札幌ガーデンパレス 鳳凰)

<研修 2 日目> 10/25(金)

9 : 00～	受付開始
9 : 30～12 : 00	分科会 第 1 分科会 「新カリで活かせる教育実践 ～チームマネジメントをどのように教えるか～」 第 2 分科会 「養成校の持つ力を地域へ ～地域共生社会を共に創る～」 第 3 分科会 「卒業生支援」 第 4 分科会 「外国人介護福祉士教育の最前線と今後」
12 : 00～13 : 00	昼食
13 : 00～14 : 30	記念講演 「わがままな障害者が遺した物～支えあうことのリアリティ」 講師 ; 渡辺一史 氏 ノンフィクションライター 『こんな夜更けにバナナかよ』 著者
14 : 50～15 : 50	一般講演 「介護福祉士を目指す外国人留学生に対する相談支援について」 講師 ; 井之上 芳雄 氏 (和歌山 YMCA 国際福祉専門学校 理事)
16 : 00～16 : 30	閉会式

分科会趣旨

第1分科会「新カリで活かせる教育実践～チームマネジメントをどのように教えるか～」

新カリキュラムでは、「人間関係とコミュニケーション」の教育に含むべき事項にチームマネジメントが追加され、これまでの30時間から60時間になった。この背景としては、介護福祉の専門職としてチームのケアの中核的な役割を果たし、介護ニーズの複雑化・多様化・高度化に対応できる介護福祉士の養成が求められているからである。介護福祉士としてチームケアを推進し、専門職としての役割を発揮するためにも、チームリーダーとしてのリーダーシップやフォローシップについて学習内容を充実させることが必要である。

この分科会では、現在の現場からの問題提起を受けて、介護福祉教育実践における「チームマネジメント」の考え方や授業方法などについて具体的に理解を深める場としたい。

第2分科会「養成校の持つ力を地域へ～地域共生社会を共に創る～」

我が国は少子化と高齢化、更には人口減少という社会の変化、いわゆる少子高齢社会になっている。今後もその進行を否定することはできないが、人口規模の小さなところでは、既に人口減少が落ち着き、中では微増もあるなど地域によりその様相に違いが見られている。こうした地域社会に於いて、社会福祉が対応する課題は多様複雑化しており、支援対象者も個人から家族、住民、地域への広がりを見せている。地域共生社会づくりには、地域性に合わせた取り組みが必要であり、養成校は在校生、卒業生の動向、実習施設等の取り組みを含めた情報の集約化としての機能や、それらの情報発信、または共通課題を共有、さらには社会資源として提供するなどこれらに関与する意義はある。そこで養成校が所在する地域の中でいかに地域共生社会づくりに関与するのかを実践事例を通し共に考える機会にしたい。

第3分科会「卒業生支援」

介護福祉士の養成が開始して31年が経過している。その間度重なる制度の改正、カリキュラムの改正、国家試験の導入など介護福祉士に求められる内容が変化している。

養成校として変化に対応し社会に応える人材の養成を行ってきた。その一環として学内の教育に限らず、卒業生に向けての様々な支援も求められ、実施されている。

今回の研修では自校の卒業生への支援に関する実践発表、意見交換などを通し今後の支援体制の構築などに生かせるよう分科会として内容の充実を計りたい。支援内容は卒業生を主とするが、地域に門戸を開放している場合も含む。教育経験、実践事例を発表して頂き、より良い教育へと繋げるよう積極的な参加を求めます。

第4分科会「外国人介護福祉士教育の最前線と今後」

現在、わが国では様々な背景のもとで、若者の介護離れが進み、2018年度の養成校入学者は、充足率44.2%で過去最低となった。養成校へ入学して介護福祉士を目指す日本人の若者は減少し続けているが、留学生の養成校入学者は、在留資格「介護」が発足以来、急速に増加し、2018年度は1142人、養成校入学生の6人に1人とまでなっている。さらに外国人技能実習生制度に「介護職種」が追加されて新たな人材確保に注目を集めている一方で、外国人労働者への様々な問題もクローズアップされてきている。

外国人の介護人材制度が混在しているなかで、養成校入学留学生にとって、在留資格「介護」の制度は極めて重要な意味を持つものであると思われるが「養成校教育」「福祉現場の受入れ」「資格取得への道」など、まだまだ多くの課題を抱えているのが現状である。私たち養成校が在留資格「介護」の制度をしっかりと確立していくことは、養成校と介護現場の人材確保にとって急務と思われる。

そこでいま、その様々な課題を整理し「外国人介護福祉士」の教育のより良い在り方を考えたい。

参加申込みについて

1. 申し込み方法

参加申し込み受け付けは、近畿日本ツーリスト北海道 札幌法人旅行支店が行います。
下記の申込み専用ホームページからインターネットでお申込みください。

介養協ホームページ ⇒ 全国教職員研修会参加申込み

<https://gtc2.knt.co.jp/kntfront/convention/CON00010.xhtml?t=T2000228393>

右記QRコードからもアクセスできます→



2. 申込み期間

令和元年8月1日（木）～9月23日（月）

会場へのアクセス

さっぽろ駅から

- ◆ 札幌駅前 地下歩行空間（通行時間 5:45～24:30）
 - ・北一条地下駐車場連絡通路 1番出口 徒歩2分
 - ・6番出口 又は 8番出口 徒歩3分
- ◆ 地下鉄札幌駅 南北線 10番出口 徒歩5分

地下鉄大通駅から

- ◆ 大通駅 東西線 1番出口 徒歩5分



上記QRコードから、
札幌ガーデンパレス HP
へアクセスできます